

はじめに

定例会は、協議会メンバーの親睦を深めるため「お互いを知ろう」、「お互いに学び合おう」をテーマに2012年10月から始まりました。

これまで毎月1回、二人のスピーカーを招いて自分達の活動の紹介、自身が研究しているテーマなどをお話していただいています。

当初は協議会メンバーに限られていましたが、今は市民調査員や一般の方にも参加できるようになっています。既に40回を超え、延べ84人のスピーカーの方から日頃聞けないディープな内容をわかりやすくお話していただきました。

毎月この会を楽しみにしている常連さんも増え、時には大学生ばかりでなく小学生まで参加される事もあり、この会の広がりを感じています。

4月からは偶数月開催となりますが、第1水曜日、午後7時から、場所は名古屋市環境局なごや生物多様性センターの会議室で開催は変わりません。皆さんの参加をお待ちしております。

また、スピーカーとしてお話していただける方も募集しております。



● 開催実績（平成27年4月～平成28年3月まで）

回	月日	発表者	内 容	参加人数	
30	4/1	株式会社竹中工務店	河崎 泰了	名古屋 蝶の飛ぶまちプロジェクト	34
		株式会社ボタニクス(園芸デザイン、環境プランニング)	富屋 均	東山公園一帯の変遷・江戸から昭和まで	
31	5/13	日本野鳥の会 愛知県支部	新實 豊	ウオンテッド! コアジサン	24
		相生山緑地自然観察会	近藤 記巳子	相生山緑のヒメボタルについて	
32	6/3	愛知教育大学 教育学部 助教	島田 知彦	愛知県を中心としたカエルの分布状況などについて	38
		名古屋昆虫同好会	大塚 篤	瀬戸市定光寺における注目すべきタマムシ(外来種)の生態	
33	7/1	栄徳高校教諭	水野 利彦	かっこいい! カマキリのはなし	37
34	8/1	公益財団法人日本野鳥の会 施設運営支援室 豊田市自然観察の森担当	山下 美夏	私とシデムシの12ヶ月	30
		名古屋短期大学現代教養学科 准教授	辻 広志	大学での環境教育	
35	9/2	ため池の自然研究会(名古屋学院大学非常勤講師)	土山 ふみ	ため池の風景 - 水質と植生の関わりを中心に -	28
		名城大学農学部生物環境科学科 ランドスケープ・デザイン学研究室 助授	橋本 啓史	環境調査にドローンを使ってみたら	
36	10/7	アジア航測株式会社 経営本部CSR推進室	松沢 孝晋	水辺環境をトンボの目線で診る	38
		名古屋昆虫同好会	大塚 篤	タカラガイの話	
37	11/4	法政大学文学部地理学科 助教	富田 啓介	東海地方の湧水湿地の目録作り	31
		なごや生物多様性センター	寺本 匡寛	自然環境調査の仕事 ～猛禽類調査を例に～	
38	12/2	なごや東山の森づくりの会	瀧川 正子	「東山の森の今」～確かな未来は懐かしい過去にある～	32
		元高校教員/著書「名古屋の大地とその生き立ち」他	村松 憲一	名古屋の大地とその生き立ち・ジオサイト	
39	2016 / 1/6	なごや生物多様性保全活動協議会	小菅 崇之	『蟲を喰らう植物!』～トマトからトウカイコモウセンゴケ～	27
		名古屋市東山動植物園飼育第一係	加藤 俊記	『ツシマヤマネコの保護の取り組み』	
40	2/3	ため池の自然研究会会員/名古屋学院大非常勤講師	土山 ふみ	ため池の保全について考える -1983年～2015年の名古屋市東部及びその周辺のため池の環境調査より-	22
		なごや生物多様性協議会幹事、原子力市民委員会委員、市民放射能測定センター運営委員	大沼 淳一	市民放射能測定センターの4年間 ～自然史博物館構想への参考として	
41	3/2	「若き研究者が語る動物たちの行動学、生態学」		34	
		名古屋大学大学院生命農学研究科修士2年	早瀬 晴菜		シジュウカラ科鳥類の親は雛へどのように餌を配分するか?
		名古屋大学大学院環境学研究科修士1年	田村 ユカ		津市から三重県桑名市にかけて広がる山陰川水系に生息するカメ類の生態と外来ガメの進出